



CEFR準拠  
日本語口頭産出能力評価法  
Oral Japanese Assessment Europe

**AJE-SIG EIJaLE-OJAE**  
セミナー・ワークショップ  
(AJE-SIG = ヨーロッパ日本語教師会 Special Interest Group)  
於名古屋 (名城大学天白キャンパス)

**EIJaLE** European Institute for  
Japanese Language Education  
ヨーロッパ日本語教育学研究所  
ドイツ国登録社団法人, NPO  
Essener Str. 14, 10555 Berlin  
Deutschland  
Steuer-Nr. 27/664/56070  
<https://ejale.wordpress.com>

欧州生まれOJAEとは?

CEFR-OJAE アセスメント段階 EIJaLE

CEFR-OJAE 階級性	オーストラリア 6段階	韓国 9段階	韓国レベル 9段階	併記
高度な 言語使用者	(D)		(D)	10
熟達した 言語使用者	C2		C2	9
	C1		C1	8
自立した 言語使用者	B2	B2+	B2+	7
	B1	B1+	B1+	6
		B1	B1	5
		A2+	A2+	4
基礎段階の 言語使用者	A2		A2	3
	A1		A1	2

『CEFR レベル例示 : A1~C2』  
(2010) 日本語教育界の**嚆矢!**  
<https://ejale.wordpress.com>



# OJAE で測る 日本語 コミュニケーション能力

——対話・協働・自己啓発の道——

日本語学習者の能力を測るテスト及び評価法は、特に書き言葉・作文に関して数多く開発されています。ところで、話し言葉についてはどうでしょうか。主観的評価に陥らず、客観的且つ公平に学習者の口頭能力を評価することはできるのでしょうか。また、口頭能力とコミュニケーション能力はどう違うのでしょうか。それらの能力はどのように伸ばしていけるのでしょうか。ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) に基づいて開発された OJAE (Oral Japanese Assessment Europe) が、複言語・複文化主義の理念と共に日本語コミュニケーション能力の段階的発達とその育成法を提案します。この機会に是非、OJAE を体験してください。

**日時** : 2019年3月3日 (日) 10:00~17:00 (受付開始 9:30)

**場所** : 名城大学天白キャンパス 研究実験棟 II K-261 教室

**主催** : ヨーロッパ日本語教育学研究所 (EIJaLE) OJAE 研究チーム

**講師** : Dr.山田ボヒネック 頼子 (ヨーロッパ日本語教育学研究所代表)  
酒井康子 (ライプツィヒ大学言語学院)  
Dr.萩原幸司 (名城大学)

**対象** : 御興味、御関心を持つ全ての方を歓迎いたします。

**定員** : 先着 90名

**参加費** : 無料

**申込方法** : 萩原幸司 <hagihara@meijo-u.ac.jp>まで御氏名、御所属をお知らせください。折り返し御案内いたします。

**申込締切** : 2月24日 (日) (但し定員に達し次第締切)

## プログラム (予定)

10:00~12:30 第1部

- ① 目標設定 : コミュニケーション能力とは何か, その評価力向上を目指して
- ② OJAE とは : 設計図, 施工図, テスト課題/スクリプト/プロンプト (昼休み)

14:00~17:00 第2部

- ① OJAE テストライブ : B2 レベル観察
- ② OJAE 評価法とは : 評価シート, OJAE 評価基準表, フィードバックシート
- ③ OJAE 評価実践 : キャリブレーション (各自の評価の突き合せ)
- ④ OJAE 体験の振り返り : コミュニケーション能力を測るとは?
- ⑤ 総括討論 : 今日の収穫, 私・所属機関の課題